

相手に伝わる会話術学ぶ

一関 新入社員向けセミナー



会話を交え、コミュニケーションスキルを学ぶ新入社員の参加者たち

平野さんは「声には感
情が出やすい。同じこと
を言っても、態度が伴わ
ないと相手からの信頼も
下がる。何を言つかよ
り、どう言つかを意識す

べき」と指摘。対人関係
では「受け身的態度で
は表面的に衝突しない
が、長く付き合うには自
分も葛藤を抱え、相手か
らも信用されなくなる」
とした上で「まずは率
直、正直に自分の考えを
伝えること。相手の話も
よく聞くことで『多少相
手の考えを取り入れても
いいかな』と柔軟にな
り、率直に伝われば相手
も変化する」と強調した。

参加者同士も初対面が
多く、自己紹介を交えな
がら自分の考えを述べ合
い、相手の話にも聞き入
った。トーバン印刷の細
野真未さん(18)は「相
手のことを考えれば、緊
張することなく会話でき
ると思う。職場でも電話
応対や上司と話をするこ
とが多いだけに、相手に
伝わるよう丁寧に会話し
ていきたい」と意欲的に
話していた。

ジョブカフェいわてと
一関市主催の新入社員向
け「新社会人フォローア
ップセミナー」が27日、
一関市大手町の一関文化
センターで開かれ、参加
者は基本的なコミュニケ
ーションスキルを学ん
だ。

新入社員のスキルアッ
プと仕事への意欲向上、
職場定着を狙いに県内5
カ所で開催され、一関会
場では市内の23事業所か
ら37人が参加。盛岡市の
上級ビジネスコーチ平野
順子さんが講師を務め
た。

岩手日日新聞

2012年6月28日